

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	163	2年	前期	看護学科	必修	リハビリテーション医療 Medical Rehabilitation	15	1
担当教員								
藤田 正明*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
リハビリテーション（以下リハ）医療は、ICF(国際生活機能分類)の理念のもと、機能障害の回復のみならず、活動の促進と社会参加・QOLの向上が重要である。障がい児・者の合併症管理と日常生活活動の支援を、医師、セラピストを含めたリハ関連職種との多職種協働のなかで、看護師の果たす役割について学ぶことが本授業の目的である。								
到達目標（授業目標）								
1) リハビリテーション（以下リハ）の理念と障害およびチームアプローチについて説明できる。								
2) 急性期から回復期、生活期のリハの流れを知り、その中でのリハ看護の役割が理解できる。								
3) 代表的疾患・障害に対するリハを知る。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	リハビリテーション医療概論：リハの理念、機能志向的アプローチ、チームアプローチ（多職種協働）							
2回	回復期リハビリテーション病棟：回復期リハ病棟の役割・使命と実際							
3回	疾患・障害別リハビリテーション：神経難病（パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症を中心）のリハ							
4回	疾患・障害別リハビリテーション：高次脳機能障害のリハ							

5回	疾患・障害別リハビリテーション：摂食嚥下障害に対する口腔ケアと口腔リハ（教育協力者）								
6回	リハビリテーション看護：リハ看護（教育協力者）								
7回	疾患・障害別リハビリテーション：小児（神経発達症）のリハ								
8回	地域リハビリテーション：地域（在宅）生活におけるリハ -地域包括ケアシステム構築に向けたリハの役割-								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
筆記試験。60点以上を合格とする。									
教科書	テキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。								
参考図書等	中村隆一・佐直信彦編「入門リハビリテーション概論 第7版増補」（医歯薬出版） 日本リハビリテーション医学会監修 リハビリテーション医学・医療コアテキスト 第2版（医学書院）								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
授業時間外の学習の進め方については、授業にて紹介する参考図書を用いて予習や復習を行う。									
関連科目									
前科目	210	成人看護対象論							
後科目	218	老年看護学実習							
実務家教員									
医師（医療機関）	藤田 正明*								
備考									